

【NEWS RELEASE】

2019年12月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社コプロ・ホールディングスに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社コプロ・ホールディングス（代表取締役社長：清川 甲介）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社コプロ・ホールディングスについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

人材と仕事のマッチングを通じた働きがいのある仕事の場の拡大

目標 8 働きがいも 経済成長も	ターゲット 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
	ターゲット 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
目標 10 人や国の不平等を なくそう	ターゲット 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

建築・土木やプラント現場の人手不足解消を通じた持続可能な産業・インフラの維持

目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	ターゲット 9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	ターゲット 11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>
SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことであります。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。